

議会報告会 実施報告書

実施日時	平成24年11月27日（火）19:00～20:35		
会場	中郷公民館	来場者数	13人
主担当班	C	福谷正人、山崎法子、馬淵清和、上原修一、林正男、木下章	
		司会進行	上原修一
		報告	(1) 福谷正人 (2) 木下章
		パワポ操作	馬淵清和 記録 山崎法子
副担当班	D	北條正、力野豊、山本貴美子、常岡大三郎、高野新一	

1 質疑応答及び意見

(1) 9月定例会の主な審議内容報告

Q1：駅前広場について、太陽光発電パネルが地面近くにある。通常は高い位置にあるものではないか。積雪時の対応はどうするのか。また、発電量は上と下では違うのか。

A1：駅を出たときに見えることで、敦賀市はエネルギーの町だというイメージを与えるよう、シンボルとして設置すると聞いている。
発電した電力はキャノピー等の照明に利用する。

Q2：雇用対策について、敦賀市は原発に頼ってきたがそうも言っていない時代になってきた。自立できる敦賀市の為にどういったことをしていかなければならないか。

A2：敦賀市では産業団地への企業誘致、港湾の整備、新幹線開業へ向けてのまちづくり等、多角的な方面から市政を考えていくと聞いているし、そのように進んでいると認識している。

Q3：国・県の支出金で収支の均衡を図っているというが、国・県の支出金も税金であるし半分は子供たちへのツケである。国・県の支出金だからよいという話ではない。

A3：世代間の負担の公平化という観点から市債等が起こされている。
また、国・県の支出金だからなんでもよいという表現はしていない。市が行う事業について国・県の支出金等確実に見込める歳入を当てて、無理なく事業ができるように収支の均衡を図っている、という意味で表現している。

また、議会でもそういう点については厳しくチェックしていく。

Q4：太陽光発電パネルは高いところにあったほうがよいのでは。

A 4 : キャノピーの屋根に載せるとパネルの重量が常時掛かることになるのでそういった構造的な問題がある。またキャノピーには明かり取り窓がついており実際設置できるスペースは小さい。さらにメンテナンスが必要なので低い位置に設置することとした、と説明を受けている。

Q 5 : 決算の議案が継続審査となっている理由は。

A 5 : 予算決算常任委員会の中で一般の会期とは別に期間を設けてしっかりと審査をするために継続審査としている。
その結果は12月定例会で認定・不認定の判断をしていく。

Q 6 : 雇用の問題について、原発が動かず敦賀の人口が減っていく。産業団地に企業誘致というが、不景気で誘致しても企業は来ないのではないか。また港湾の整備についてもどんなに広げてもトラック輸送の分しか仕事生まれぬ。もっと地元の雇用が生まれる施策を打つべき。

A 6 : 議員として勉強すべき内容であるし、市にもそのように要望をしていく。

(2) 議員定数についての検討状況報告

Q 1 : 自分の周りでは2名減らして24名がよいという意見が多い。敦賀市は人口が7万人いないが、7万人以上いても20名という自治体もある。24名ではやっていけないのか。

A 1 : よく人口割りの話がされるが、それぞれの議会によって抱えている問題が違い、議員数にも影響がある。敦賀では、原子力や港湾、病院といった問題がある。
今回は検討の中でそういった業務も含めてどうあるべきかを議論してきた。今後は皆さんからの意見も参考にしながら検討を深めていく。

Q 2 : 議員は一人当たりどれくらいの役職を持っているのか。

A 2 : 常任委員会2つ、特別委員会1つ、委員長、副委員長は基本的に兼務していない。

Q 3 : 2名減らして24人とするのは無理か。原発が止まって市の財政は厳しい。数だけでなく議員報酬は減らさないのか。

A 3 : 現段階では検討していない。あくまでも数を検討している。議員報酬等については今後の検討の課題である。

Q 4 : なんでも持ち帰りというが、議員同士での議論では数を減らせないのでないか。

A 4 : 元々の定数30名から28名、さらに26名へと議員の議論によって減らしてきた。

Q 5 : 数が減ると監視機能が低下するというが、個人的には 20 名でいいと思う。専門職が考えてきたことをそれ以上に勉強して審査することが議員に出来るのか。

専門家以上に議員はもっと勉強しなければならない。しないのであれば人数はいらないのではないか。

A 5 : そういったことも含めて今後の検討の参考とさせていただく。

(3) 市民の市議会や市政へのご意見

Q 1 : 市民福祉会館について、今はどう進んでいるのか。

A 1 : 市では利用者の代表も含めたあり方検討委員会を設置し、今後の活用について検討している段階である。

Q 2 : 市民福祉会館は 3,800 万円の運営費に対し 500 万円の売り上げと聞いている。議会は市民からの要望があれば市にお金を出させるのか。

A 2 : 現在、議会としては議論をしていないので何ともお答えできない。出来るとすれば今後議員個人が一般質問等でしっかりと取り組んでいく。

敦賀市議会議長 堂前 一幸 殿

平成 24 年 12 月 18 日

敦賀市議会報告会実施要綱第 10 条第 1 項の規定により提出します。

代表者 C 班 福 谷 正 人